

平成 26 年度春季大会 兼 インターハイ・近畿大会 1 次予選 報告

3年廣橋が個人4位入賞も、悔しさいっぱいの大会でした。

5月5日(月)・6日(火)に、平成 26 年度春季大会がおこなわれました。この大会は、インターハイ・近畿大会の1次予選を兼ねており、団体戦は5人団体で、3立合計60射20中以上、個人戦は各自12射6中以上で、6月の本予選の出場権を獲得します。

◆5月5日(月) 男子の部

2年生、しっかりしろ！

まずは男子です。人数の少ない(6人)本校にとっては、5人団体の試合は厳しいですが、全員のレベルアップを目指してここまで頑張ってきました。しかし、練習場所が狭く、5人揃って同時に引くことが出来ないのも、どうしても試合のイメージが出来ず、不安な状態での試合となりました。

メンバーは、3年廣橋、2年流、西本、前田、3年樋田の5人です。主力の3年小野原を諸事情でメンバーから外す厳しい状況でしたが、5人は「小野原抜きでも勝負出来る。」と意気込んで試合に臨みました。結果は、3年廣橋が12射10中、樋田が9中と健闘しましたが、2年の3人が総崩れで、合計26中で、上位入賞どころか、本予選の出場権を獲得するのが精一杯という情けない結果となりました。

数日前からの練習では、5人の合計でだいたい60射40中以上が安定して出ているので、内心部員たちも自信を持って臨んだと思いますが、本番では全く力を発揮出来ませんでした。最近の試合はずっとこの調子です。練習で出来るのが本番の試合で出来ない。いったいどこに原因があるのか、各自がしっかり考えなければなりません。

個人戦は、小野原が個人枠で出場し、12射8中で見事予選通過し、結局3年生3人が本予選に進出することになりました。顧問推薦で1人追加出来ますが、2年生の不甲斐ない結果がより目立ちます。今後の奮起を期待しています。2年生の成長なくして、団体戦の勝利はありません。

また、10中の廣橋は個人戦で、3、4位決定競射に残り、競射の結果4位入賞となりました。団体戦が苦しい中、よく頑張ったと思います。



◆5月6日(火) 女子の部

あと1本・・・ 悔しすぎです。

二日目は女子です。女子は部員が3人(3年山田、鷺島、2年須田)しかおらず、最初から2人少ないハンディのある状態での挑戦です。かなり厳しい条件ですが、3人の部員は、「必ず1次予選を突破して、6月の本予選には、1年生2人を加えて、5人で勝負するんだ!」という強い思いを胸に試合に臨みました。結果は、山田9中、鷺島5中、須田5中の合計19中で、予選通過にあと1本足りず、無念の予選落ちとなりました。あと1本・・・悔しいです。特に最後の1本を外した山田は相当悔しかったらと思います。最後の1本が当たってれば、団体は予選通過出来たし、個人戦で言えば、他に10中が1人しかおらず、個人優勝も狙えたのです。しかし、この1本のプレッシャーは相当なものだったと思います。今回は残念でしたが、今まで力がありながら的中が伸びず、上位入賞が出来なかった山田にとっては貴重な上位争いのいい経験となったのではないのでしょうか。今回の試合で、大阪で個人優勝を狙える力があることを証明出来ました。今回の悔しさと経験を本予選にぶつけ、インターハイ・近畿大会への出場切符を勝ち取ってほしいと思います。



女子団体 3人で良く頑張った!



**女子個人 山田
この悔しさをインターハイ予選にぶつけろ**

今回、応援と試合見学のために新入部員を連れていきました。1年生の目には弓道の試合、初めて見た他校の選手、試合に臨む先輩の姿はどう映ったのでしょうか? 顧問として感じてほしかったことは、試合での的中や勝敗だけではなく、他校の1年生のキビキビした行動、ハキハキした返事、態度などです。同じ1年生でもあれだけの行動が出来ているのを見て、自分たちの今の“甘さ”を実感してほしいと思います。他校の1年生に出来て自分たちに出来ないわけがありません。他校の良いところはどんどん参考にして、自分自身がより成長できるようになって下さい。

いよいよ6月14日(土)・15日(日)は、インターハイ・近畿大会の代表決定戦です。この日のために厳しい練習に耐えてきました。試合当日に、「やれるだけのことはやった。」「他校より自分のほうが練習した。」と胸を張って言えるくらい頑張ろう。やるべき事をしっかりやりきり、何の迷いもなく、自信を持って試合当日を迎えよう。

「失敗すればするほど、我々は成功に近づいている。」